



今回は、金沢大学一日ロースクールについて報告します。

◇ 生徒7名が、金沢大学一日ロースクールに参加しました！

日 時： 令和元年8月23日(金) 場 所： 金沢大学 角間キャンパス
主 催： 金沢大学 参加校： 滋賀県立虎姫高等学校 岐阜県立関高等学校

◇ 当日のようす

公認サークル「金沢法友会」の主催する「虎高・関高一日ロースクール in 金沢大学」に参加しました。「プロセスの大切さを考えよう」をテーマに、ものごとを決定・判断する手続において考慮すべきことごとについて、理解を深めることができました。虎姫高生 29 人に、関高生 7 人が加わって、総勢 36 人。いずれも自分の頭で考え、グループワークを通じて他のメンバーと議論する場面がふんだんにあり、充実した時間となりました。

◇ 生徒の感想より

■端的に言えば、最高の経験をする事ができました。間違いなく、今後の僕の法学部に対する情熱に影響を与えたと思います。憧れと向上心、これを得ることができました。

今回のアクティブラーニングの内容は僕の班のリーダーの大学生が企画したものだというということと、その方の話の仕方や目の付け所が素晴らしくて、僕はあまり憧れたりすることはないのだけれど、この人みたいに振る舞いたいと、ふと思えました。また、証拠から事件を推論する活動で自分が納得出来るような結論を導けなかったことを僕はとても悔しく思っています。まだまだ甘いところがあって説得力に欠けています。ですがそのおかげでもっと自分の推論する力を磨きたいと思えました。そういう気持ちに義務感ではなく自然となれたことは今回の収穫の一つです。

法学部の面白さは、意見が分かるところだと思います。以前名古屋大学で講義があったときも、有罪無罪の判断が見事にバラバラで、より多くの人を納得させられるようになりたいとわくわくした思い出があります。今後は、今回得た気持ちを大事にして、法律のどの分野の興味が大きいかを考えようと思います。



■1時限目のロースクールでは「誰かが被害を被る判断を下すときに何に気をつけるべきなのか」という議題について考えたが、自分で深く考えたことのないことだったので今後に生かせるいい機会になった。できる限り多くの情報を集め、当事者全員から話を聞き、信用できる情報だけを参照して、独断に陥らないように公正に判断する。一見当たり前のことだけれど意識することが大切だと思った。2時限目は刑事捜査のような、人狼のような感じで楽しかった。また、1時限目で学んだことも所々生かしながら考えることができた。滋賀県の虎姫高校の人たちと交流は楽しかったし、コミュニケーション能力が鍛えられたと思う。総じて有意義だった。